

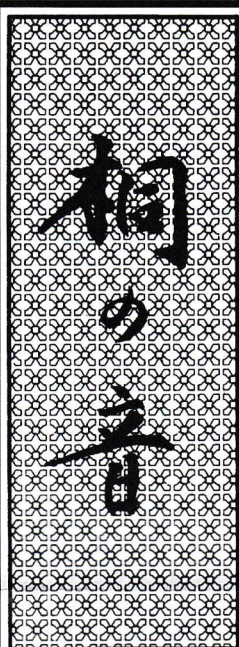
桐の音コンサートが 開催されました!!

オーディションにより選抜の9組熱演

2022年5月22日（日）に桐の音コンサートが銀座の王子ホールで開催されました。

200名以上の方にご来場いただき、「15期から57期と様々な卒業期に加えて社会人入学の方もいて、幅広い年代の人たちが演奏していてよかった。」「多彩な楽器・編成の演奏を聞くことができた。」「久しぶりにたくさんの人に再会した。」といったお声をいただきました。

皆さまのご協力でコロナ禍のもと無事開催できました。すべての方々に深く感謝申し上げます。



発行

桐朋学園芸術短期大学
音楽専攻同窓会「桐の音」
題字 (故)生江義男先生
発行責任者: 加藤 理恵子



Program

1. フルート三重奏
▶八谷 瑞穂[52期]、今野 仁美[52期]、田中 翔斗[53期]
チェスノコフ: 妖精の絵 作品40より
2. テノール独唱
▶関根 季樹[53期]、Pf. 磯崎 美星[53期]
瀧 廉太郎: 納涼
木下 牧子: 鷗
3. ピアノ独奏
▶中山 絵美子[37期]
ラヴェル: 高雅で感傷的なワルツ
4. ヴァイオリン独奏
▶橋本 知歩[57期]、Pf. 塚本 恭子[55期]
ドビュッシー: ヴァイオリン・ソナタより
5. ピアノ連弾
▶田枝(西村) 真紀[29期]、香西(稲川) 久美子[29期]
ラフマニノフ: ピアノ連弾のための6つの小品より
6. ソプラノ独唱
▶神原 愛可[55期]、Pf. 石川 為都子[56期]
ヴォルフ=フェラーリ: 4つのリスペット作品11
モーツァルト: アルバのアスカーニオより
“あなたの枝の木陰を地上の人は待っている”
7. フルート四重奏
▶羽染 沙紀[51期]、間宮 和子[51期]、中村 音舞[52期]、
石野 裕一[52期]
クローウ: グランドカルテット ホ長調 作品103より
8. ピアノ独奏
▶黒岩 美幸[51期]
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第21番
「ワルトシュタイン」作品53より
9. メゾソプラノ独唱
▶木村 圭子[15期]、Pf. 皆川 育子[15期]
加藤由美子: 歌曲集「歳をとるほど大胆になるわ」

桐の音コンサートを
YOUTUBEで視聴できます!

詳しい操作方法是
2面下部をご覧ください。

※2022年12月31日までの限定公開です。



コンサートの後日、出演者の皆さんにアンケートを行いご回答いただいたものを掲載します。
またご承諾いただいた方にはインタビューもしましたのでご覧ください。

木村 圭子[15期]

声乐は特に、声のタイプや年齢など、今の自分の状態にあった作品を選ぶことがよりよい演奏に繋がります。

今回、アストラ・ブローグ詩（岡田宏子訳）加藤由美子作曲「歳をとるほど大胆になるわ」という歌曲集を選びました。この作品は、老いを前にした女性が、老いを前向きに捉え今こそあらゆる束縛から解放たれ自分らしく生きる時、と歌う内容です。言葉に大変説得力があり、またウィットに富んだ作品で、お客様にも共感をもって楽しく聴いていただけるのではないかと思います。

演奏する度に、作品からは思いがけない新たなエッセンスを感じます。またお客様と共有する空間でしか生まれない表現ができるのが、本番の醍醐味でもあります。

年齢を経ても、その歳々の演奏をしていきたいと思います。



田枝(西村) 真紀[29期]、香西(稲川) 久美子[29期]

ラフマニノフ作曲の「ピアノ連弾のための6つの小品」は、私達にとって、本格的にピアノデュオの世界に触れる第一歩となった、学生時代のレッスンで取り上げられた思い出深い曲です。初心を大切にという思いも込めて、桐の音主催の音楽会で演奏したいと選曲しました。

練習室、スタジオ等での合わせを積み重ねてきましたが、やはりホールという空間で音を響かせること、それを届ける相手がいるということには大きな違いがありました。

スラヴァ！のクライマックスでは鐘が鳴り響いているかの様な盛り上がりがありますが、「如何に響かせるか」に焦点が合っていた学生時代よりも、「その響きに何を思い、どう伝えたいのか」とより深く掘り下げようになりました。

年を重ねる中で変化したり新しい発見を体験できるのは、音楽の醍醐味だと思います。デュオを組んでいる私達はそれを二人で共有しながら経験していける。

その楽しさ、魅力を再確認し、これからもデュオを続けていきたいな、と感じました。



桐の音コンサート 動画の鑑賞方法

1

QRコードリーダー等
読み込みアプリを起動

2

QRコードを
読み取ります



3

QRコードの焦点を合わせ、
表示された文字を押すか、
「サイト」や「ブラウザを開く」
といった文字を選んでください。

もしくは、ブラウザアプリのURL入力窓に
https://youtu.be/y_FIJCPtRqk
を入力してください。

短大からの お知らせ

2021年度より音楽専攻科目等履修生の科目に実技レッスンが開放されました。卒業されてからさらなる研鑽を積みたいという方は、ぜひお申し込みください。詳しくは桐朋学園芸術短期大学の公式ホームページを参照されるか、本学までお問い合わせください。

レ・スリール

今野 仁美[52期]、八谷 瑞穂[52期]、田中 翔斗[53期]

—まずトリオ結成のいきさつについて教えてください。

短大の在学中に授業で何度か一緒に演奏していたのですが、ある演奏会をきっかけに卒業後も3人で演奏していこうと結成しました。トリオ名の Le sourire (レ・スリール) はフランス語で“笑顔”という意味で、自分達だけでなく演奏を聴いて下さる方にも笑顔になってもらえるようにと願いを込めて名付けました。実は、この名前に決まるまでは3人で悩みに悩んでとても時間がかかりました。



—チェスノコフ作曲の「妖精の絵」を選んだ理由はどんなことですか？

学外演奏会で先輩が演奏するのを聴いて、それまで聴いてきたフルートアンサンブルとひと味違う雰囲気惹かれました。各楽章それぞれにテーマがあり、神秘的で祈りを捧げるようなメロディや、リズムカルに3人が掛け合う所のかっこよさは衝撃的でした。

—演奏を作り上げていく過程はどうでしたか？

曲の雰囲気作りやアップテンポでの掛け合いなどが特に難しかったです。各パートそれぞれの役割がしっかりした曲なので、いつも以上に一人一人の責任を強く持ち、周りの音もよく聞くように練習しました。また、トリオで特殊管(ピッコロ)を使う曲は初めてだったので、音量のバランス等を考えて演奏するのも大変でした。レッスンも受けましたが、この曲を自分たちのものにしていくには本当に時間がかかりました。

—桐の音コンサート当日に何か感じたことはありましたか？

楽屋の廊下に、世界の著名な演奏家が王子ホールでコンサートを行った際の写真が多数飾ってあり、この素晴らしいホールで自分たちも演奏できたのだと感動しました。そしてそのような王子ホールで、共に学んだ仲間や先輩方と一緒に出演し、演奏会のトップバッターを務められることを嬉しく思いながら演奏させていただきました。また、終演後は卒業以来久しぶりにたくさんの仲間たちに会うことができてまるで同窓会のような感じでした。

—今日はどうもありがとうございました。ますますのご活躍をお祈りしています。

神原 愛可[55期]

—まず選曲の理由をお聞かせください。

桐朋短大を2020年に卒業してすぐにパンデミックが起き、東京藝術大学に入学してからも自宅でオンライン授業を受ける日々が続きました。やっと対面でレッスンが受けられるようになった時に勉強したのがイタリア近代歌曲でした。そのため思い入れが強く、いつかコンサートの機会があったら歌ってみたいと思っていたヴォルフ＝フェラーリ作曲の「4つのリスベット作品 11」を選びました。またモーツァルトのアリアは今回のコンサートにふさわしい明るく華やかなアリアを選びました。



—イタリア近代歌曲についてもう少しお願いします。

やっと対面でレッスンできるようになった1年生の秋にはジョルダナーノの「4月が戻ってくる」という曲を勉強したのですが、半年の時間を経てようやく春が戻ってくれたように感じたこともあって、歌いながら喜びで全身が震えました。オペラのアリアは「特定の場面の登場人物の気持ちをどう歌うか」ということで解釈をつかみやすいところがあるのに対し、歌曲は詩についての解釈により時間がかかります。今回演奏した曲の中でも、イタリア人のコレペティの先生から新たな着想をいただき解釈が変わった曲がありました。

—演奏会当日のことについて少しお聞かせください。

当日は、リハーサル後に松井先生からアドバイスを頂けて有り難かったです。実は、リハーサルが一番緊張しました。また、先生・同期・先輩・後輩など懐かしい方々に再会できたのがとても嬉しかったです。そして、素晴らしい音楽家たちが演奏してきた歴史ある王子ホールで歌わせていただけたことは大変貴重な経験になりました。本当にありがとうございました。

—今日はどうもありがとうございました。ますますのご活躍をお祈りしています。



46期 石井 希衣さん

おめでとうございます!

昨年同様、今回も石井さんにインタビューを行いました。

—— 神戸国際フルートコンクールについて教えてください。

石井：過去の著名な入賞者と言えば、1989年の第2回に1位を獲得されたエマニュエル・パユさんがいらっしゃいます。彼がその後ベルリンフィルの首席に就任し、神戸のコンクールを世界的に有名にしてくれたのだと思います。個人的には第1回で2位であった佐久間由美子先生のファンでもあります。

—— 今回はオンラインでの開催でしたね。予選から本選まで一気に録音するのですか？

石井：予備予選は録音、一次は録画での審査でした。その後に、さらに二次、三次、本選も録画での選考となることになってしまいました。二次審査以降の録画は今までで一番時間とお金をかけ、回数に回数を重ねて準備をしました。

—— 録音・録画のコンクールは、通常のコンクールとはどう違いましたか？

石井：一次審査で外国の奏者達の録音（演奏）を聴いた際、日本とは録音のレベルに差があることに気が付いたので、エンジニアさんや良い会場を探し、何回も録音しました。どの録音を使うかも含め自分のセンスが問われるので、その点では録音も面白いと感じましたが、常に「これでいいのかな？」という気持ちがありました。ですが同時に生演奏の良い部分を再認識することもできました。

—— 印象に残った事がありますか？

石井：やはり海外のプレイヤーの演奏のクオリティは衝撃的でした。みんな个性的で絶対違う。それぞれが思ったことを音にしているので、誰を聴いても飽きないし、とても面白かったです。あとは、録音する時も再生する時もひたすらドキドキしたことが印象に残っています。審査員の先生方が自分の演奏を聴いていると思われる時間もドキドキしたので、日常生活もままなくなりました。

—— 思い入れのある曲はありますか？

石井：今回は全部の曲が録音審査になったこともあり、全ての曲に思い入れがあります。が、中でもカルク＝エラートのソナタは特に思い入れがあります。楽譜に残してくれていることが沢山あり、それを読み解いていくのも楽しかったので、この曲はこれからもずっと演奏していきたいです。他の曲の中ではJ.S.Bachの無伴奏チェロ組曲は、フルートのアプローチだけでなく弦楽器の先生にもレッスンを受けて勉強したりしました。

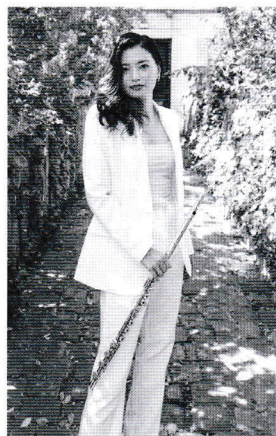
—— 今はパリで勉強されているとのこと。簡単に現況を教えてください。

石井：今はエコールノルマルでヴァンセンヌ・プラッツ・パリ先生に習い、プライベートでヴァンサン・リュカ先生に習っています。表現的なことやアンサンブルなどの実践をしてくれる先生と、基礎や音のクオリティなどを指導してくれる先生。お二人ともパリ管弦楽団の奏者なので、毎週コンサートを聴きに行っています。特にフランス作品を演奏する時の気合の入りが違うため、ラヴェルやドビュッシーなどは聴きごたえがあります。そして聴衆の反応も楽しく、1楽章ごとに鳴りやまなるときもあれば、さっぱりしている時も。そういった文化も含め、コンサートを聴きに行くのが楽しいです。

—— このご時世、なかなか会えていない同窓生も居ると思いますが、メッセージはありますか？

石井：私の代に限らず、在学中は先輩や後輩も活発で、練習のスタイルや程よいライバル感がありました。音楽に一生懸命になったなと思います。その後に他の学校へ行ったりもしていますが、音楽の話に限らず色々なことを相談できるのは短大の友人です。最近では会えていないことが続いているのですが、それぞれが頑張っていることは話に聞いているので、刺激を受けています。

—— 昨年に続き、今年もありがとうございました！益々のご活躍を願っています!!



★同窓会『桐の音』で行っている補助活動

同窓会では、下記の活動に補助金を助成しています。助成を受けた団体は、会報に活動報告をお願い致します。

コンサート後援

出演者の約1/2が本学の卒業生である場合、申請があればチラシ・ポスターに「後援・桐朋学園芸術短期大学同窓会『桐の音』」の記載を許可し、当日会場に盛花を送っている。

同期会補助

同期会を開催する場合、申請があれば五千円を補助する。
※各地での県人会的な同窓会の場合
は要相談

サークル活動補助

本学卒業生で組織されていて、定期的に練習・勉強会を行っている団体、サークルに対し、年額二万五千円を上限とし補助する。但し、申請の際、役員会で活動内容を審査し承認された団体にのみ支給、年度末には会計報告を提出しなければならない。

同窓会「桐の音」連絡先

Mail info@kirinone.jp



同窓会 桐の音
公式LINE アカウントを
お友達登録しませんか？

同窓生の情報を定期的に配信していきます！ @622tjfoj で検索していただくか、こちらのQRコードから友達追加してください！



後援したコンサート（令和3年度）

♪ 4月30日

「内林 順子ピアノリサイタル」

カワイ川口サロンホール

内林 順子（34期）

♪ 10月22日

「二十五絃箏制作30周年記念

内藤美和二十五絃箏リサイタル vol.1」

王子ホール

内藤 美和（40期）

♪ 10月23日

「二十五絃箏作品演奏会

二十五絃箏制作30周年記念」

烏山区民会館

佐藤 亜美（41期）ほか

♪ 12月5日

「Dream full Art Concert vol.15」

スタジオ ワイズ

竹田 早希（46期）ほか

♪ 12月5日

「musicaクリスマスコンサート2021 & 音脳リトミック」

コミュニティカフェ ななつのこ

大井 祥子（45期）ほか

♪ 3月12日

「ピアノリサイタル」

宮地楽器ホール大ホール

成井 木綿子（28期）

♪ 3月20日

「Spring gala concert」

KUNST

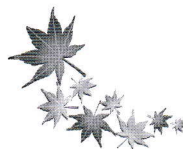
小笠原 真子（49期）ほか

3期 三木容子
2021年9月25日にカメラータ・トウキョウよりCDが発売されました。
月刊『ステレオ』2021年11月号「今月の特選盤」に選出されています。また、「音楽現代」2021年12月号にも取り上げられました。

「20世紀のピアノ音楽」
・アルバン・ベルク作曲…ピアノソナタ作品1
・アルノルト・シェーンベルク作曲…ピアノ曲作品33a, 33b
・アントン・ウェーベルン作曲…ピアノのための変奏曲作品27
演奏…三木容子（ピアノ）・高木和弘（ヴァイオリン）（詳しくは桐の音ホームページをご覧ください。）
（2022年1月）

14期 松林智子
2021年第7回Blueコンチェルトコンクール第2位受賞、2021年第3回日本奏楽コンクール審査員奨励賞受賞いたしました。
「TAVコンチェルト スーベルバード」2021オーデションに合格し、12月19日第一生命ホールにて演奏いたしました。
（2021年11月）

46期 竹田早希
合唱メンバーを募集しています。詳しくは桐の音ホームページをご覧ください。
（2022年3月）



募集しています。詳しくは桐の音ホームページをご覧ください。
（2022年3月）

同期会報告
49期 小笠原真子
集まった仲間と懐かしい童謡や歌謡曲を歌って楽しみました。
桐朋の先輩がアーカイブ撮影もしてくださり、後日編集してアップされる予定です。
やっと落ち着いてきた世の中ですが、堂々と歌うこと、音楽を楽しむことができ、幸せな時間となりました。
（11月20日・クンストにて）

活動報告

役員会

2021年10月22日

・「桐の音コンサート」の開催に伴う12月5日(日)に開催するオーディションの詳細について

2022年1月4日

・「桐の音コンサート」について

2022年2月3日

・「桐の音コンサート」について

2022年2月24日

・「桐の音コンサート」について。特に会員の方への案内状・先生方への招待状・チラシについて

2022年4月7日

・「桐の音コンサート」について。特にコンサート当日の進行などについて

2022年4月27日

・「桐の音コンサート」について。特にホールとのやり取りについて

2022年6月2日

・「桐の音コンサート」を振り返って

・今後の活動について

・今年度の幹事会開催について

(いずれの回も現状を鑑みオンラインによる開催となりました。)

なお今年は12月に対面の幹事会を開催する予定です。

57期 新規会員名簿

越前谷 誠	星 野 知 沙	○山 口 明 浩
木 下 舞衣子	増 尾 彩 花	鈴 木 鞠 花
関 野 直 子	湯 泉 美 生 夏	代 伊 藤 緑
似田貝 詩 織	安 藤 百 花	伊 上 口 由紀美
○長谷部 綾	鹿 島 ありさ	黒 子 曉 和
春 木 妃 香	河 村 美 穂	島 田 芳 恵
畦 池 百 果	鈴 木 佳 秀 明	伊 藤 順 子
池 村 瑞 果	高 橋 嶋 愛里彩	岡 田 知 子
江 川 志 保	三 長谷 仁 美	庄 崎 杏 南
遠 藤 乃 愛	小 勢 桃 子	真 部 淑 希
大 竹 留 奈	田 中 島 理 佳	今 井 本 千
姜 聖 奈	中 岡 宗 司	菊 佐 野 有
榊 茉 奈	初 見 健 斗	諏訪部 美 結
莊 美知枝	○村 山 麗 奈	
土 屋 智恵美	田 中 美 保	
早 川 空 穂		
藤 原 花 穂		

○印は代表委員

桐の音 掲示板

木村 圭子(15期)

日本歌曲振興波の会「新作歌曲の夕べ」

■日 時：11月7日 18時開演

■会 場：東京文化会館小ホール

(問い合わせ先：
fuj-kim-5.4@docomo.ne.jp 木村)掲載をご希望の方は事務局までお願いいたします。
(ホームページからもご連絡いただけます。)

● 住所など登録内容の変更はスマホやパソコンでもできます。「桐朋学園芸術短期大学同窓会」からホームページにアクセスしていただいて、ホームから「各種申請手続き」を選んでください。

またこちらのQRコードも「名簿登録内容変更申請」のページにとぶようになっていますので、ご利用ください。



令和4年度予算案 (通常会計)

(収入の部)	
前年度よりの繰越金	¥4,401,796
令和3年度卒業生入会金	¥615,000
利息	¥10
年会費(見込み)	¥600,000
合計	¥5,616,806
(支出の部)	
HP関係費	¥120,000
会報関係費	¥700,000
音楽活動費	¥10,000
同窓生後援費	¥100,000
交際費	¥30,000
会議費	¥100,000
雑費(郵送費・振込手数料)	¥150,000
特別会計へ	¥434,616
合計	¥1,644,616
次年度繰越金	¥3,972,190

桐の音 令和3年度 決算報告

(収入の部)	予算案	決算額
新入会員入会金	¥480,000	¥420,000
利息	¥10	¥21
年会費	¥600,000	¥1,215,000
繰越金	¥4,796,032	¥4,796,032
合計	¥5,876,042	¥6,431,053
(支出の部)		
HP関係費	¥120,000	¥110,514
会報関係費	¥700,000	¥615,580
音楽活動費	¥10,000	¥0
同窓生後援費	¥100,000	¥23,000
交際費	¥30,000	¥0
会議費	¥100,000	¥880
雑費(郵送費・振込手数料)	¥150,000	¥113,899
特別行事積立(特別会計へ)	¥800,000	¥800,000
特別行事積立(特別会計へ)		
来年度行事コンサート用支払	¥0	¥365,384
繰越金	¥3,866,042	¥4,401,796
合計	¥5,876,042	¥6,431,053

特別会計報告

(収入の部)	
前年度繰越金	¥12,409,913
通常会計より	¥800,000
通常会計より 来年度コンサート関連費用	¥365,384
利息	¥46
合計	¥13,575,343
(支出の部)	
来年度コンサート関連費	¥1,082,259
次年度繰越	¥12,493,084
合計	¥13,575,343

上記決算報告書監査の結果、
相違ないことを認めます。
令和4年4月30日 会計監査 白居すみれ ㊞

募 集 中

同窓会のお手伝いをして下さる方、会報の編集のお手伝いをして下さる方を募集しています。

info@kirinone.jp



info@kirinone.jp

ご連絡ください

☎ 03-3717-2011 (皆川)

住所、氏名等に変更がある場合は、
代表委員長または、各期の代表委員まで。

「桐の音」のホームページ・メールアドレス

🌐 https://www.kirinone.jp

✉ info@kirinone.jp